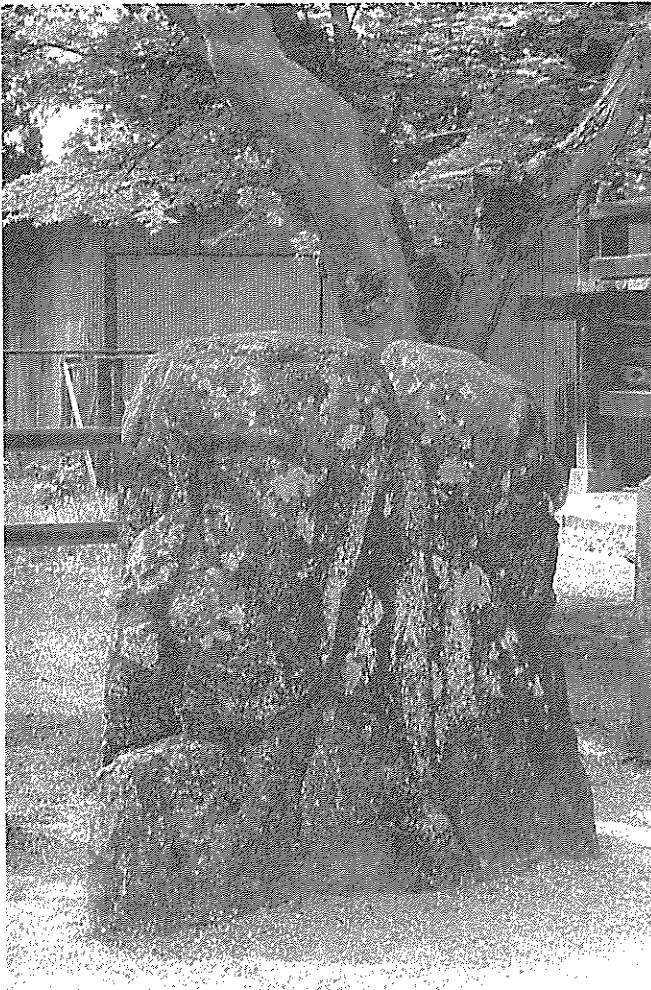


MYSTERY IN ASUKA PART-2

飛鳥には謎にみちた石像物が多い。それらは何かを私たちに語りかけてくる。しかしその意味はわからない。まさにミステリーである。



〈二面石〉

聖徳太子生誕の地といわれる橘寺の境内に二面石と言われる石造物がある。高さ1mほどの大きさで南北に人面らしきものが彫られてあり、善悪両相二業一心をあらわすと説明されているが、その思想的意味は未解明のままだ。

「税金を滞納するのは大嫌いだ」と言いながら巨額の蓄財をして脱税する。大企業の献金リストに名前が明記されているながら「一切ない」とシラをきる。

善悪二面を巧みに使い分ける御仁の多いこの世の中、さて、この二面石、何と見ているのだろうか。



大切な無駄

奈良女子大学生協・専務理事 小林 利幸



バブルがはじけ、売上げが伸びず、経営が大変だということで「合理化」や「リストラ」が言われております。無駄を省き、経営体質の改善を図らなければならないと言われてはわが身につまされる思いであります。そんな時にふと頭に浮かんだことを紹介したいと思います。

お店にいけば「いらっしゃいませ」と言ってくれますが、あの言葉がなくても買い物はできます。「おはようございます」と挨拶しなくても一日は始まります。「ちょっとそれ貸してもらえますか」と言うよりは「それ」で済みます。「毎度ありがとうございます。商品をお届けに上がりました」なんて言うよりは「はんこ」の3文字の方が合理的です。言わなくても見れば分かるのですから、合理的に考えてみれば、無駄なことのようにもみえますが、人間が社会で過ごしていく上で大切なコミュニケーションだと私は考えます。もちろん、「無駄口」を叩く必要はないと思います。無駄口ですから。

人間の行動を時間で計り経済的合理化を進めようとするれば言葉も当然「合理化」の対象となるのが今の世の中なのでしょう。

さて、食事のかわりに必要栄養素だけを摂取すれば合理的ではありませんか？漫画チックな様ですが、「彩りを飾る」よりは「必要な栄養素があればいい」と置き換えられればつい納得してしまいませんか？経済的合理化を追求しようと思えば、「彩り」も「合理化」の対象とされてしまう「無駄」なのでしょう。

私にとっては、食事をするということは「栄養素を摂取する」というガソリンの補給ではなく、楽しみであり休息であり、時には期待はずれでもあります。だからこそ味も香りもそして「彩り」も、とても重要な要素なのです。

「無駄」というと悪玉のように言われますが、合理化の陰で切り捨てられていく「無駄」を見つめ直してみませんか。「人間らしさとは何か」「豊かさとは何か」がきっと見えてくると思います。

県連組織担当者研修・交流会に参加して

ならコープ組合員活動部 福西 啓次

2月22日（土） NTTふれあい会館において
20名の参加で行われました

先口、県連の組織担当者研修にならコープから、森本（平和・福祉担当）、山本、そして福西（環境担当）の3名が参加させていただきました。

牛乳パック回収などでは、女子大生協や教育大生協との関わりはありましたが、それ以外のことではほとんど無く、ましてや労済生協やおやさと生協さんは口頃何をされているのかさえも知りませんでした。また、県連の主催ということでもとても堅苦しい会議と思いながらの参加も、それはそれはならコープのそれとは大違い。それぞれユニークな発表があり何となく活動内容も理解でき、楽しく時間を過ごさせて頂きました。大学生協のところでも福祉や環境に対しての問題意識が大きく、労済生協にしても生協共済との連携など、県連としても大いにやることがあると感じました。



5 生協が発表し合いました

瀧川専務からまとめがあったように、情報交換などの連携はできてきたけれども、93年度は何か小さい事でもいいから連帯での成果、をつくりあげようはまさにその必要性和期待を感じました。

まず、4月25日は秋篠川のごみ拾いハイキングに参加しましょう。

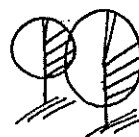


協同組合連絡協議会の 設立を祝って

奈良県生協連・専務理事 瀧川 潔

1月27日、奈良市パークホテルに於いて奈良県協同組合連絡協議会の設立総会が開催されました。構成団体は、県農業協同組合中央会、県信用農業協同組合連合会、県経済農業協同組合連合会、県共済農業協同組合連合会の農協四連と県森林組合連合会、それにわが県生協連の六団体です。（奈良県には淡水魚の養殖や漁に携わる漁協はありますが連合会機能がないとのことで漁連の参加はありません）

約三年前の3月、奈良県生協連が設立されてから私たちは何とか県内の協同組合の連帯を進めることができないかと考え、以前からならコープを通じて連携のあった農協経済連を通し、農協中央会や森林組合にお会いをして当県生協連の連帯の意向をお伝えしてきました。91年7月国際共同組合デーに農協中央会にリードいただいて農協中央会と県生協連で「第1回協同組合デーのつどい」がもたれ、



連帯の具体的一歩が築かれた後、秋の協同組合まつりには農協中央会の杉本専務理事から連帯のご挨拶をいただきました。92年は、おりからのICA東京大会の流れが「追い風」となって「怒る富士」への農協婦人部のご協力、第2回協同組合デーのつどいにおける「県協同組合の連帯機構設置をめざす」との合意形成へと順調に連帯準備が進みました。

こうして、県農協中央会森課長、県生協連森事務局長のモリモリコンビによる連帯機構設立準備事務局の活動が盛り上がり、森林組合連合会（通称モリレン!）のご参加もスムーズにいただき、ついに1月27日、協議会設立の日の日を見たのでした。

農協、漁協、生協を中心とした全国各地の連帯はさまざまに進められていますが、連絡協議会として機構の設置に至っているのは、何と近畿では兵庫に次いで2番目とのこと。

人と人とのつながりを大切にする協同組合の奈良における連帯を一つ一つ大切にしながら、協同の力を奈良県のすみずみに広げていくために、これからが出発の時です。

事務局研修で

愛媛県連に行きました

おやさと生協 上田 久司

世界的に飽くなき利潤追求による企業のモラル低下、食料・エネルギー・平和・環境・人間性に対する危機の進行が問題となっている現代、食料や環境などまさに人間生活を中心とする営みを大切にする協同組合の力が見直されるべきときです。「産業社会から生活社会への移行」も、協同組合の活動が発展する中でこそ実現するでしょう。

多くの県民の皆さんと共に、協同組合の連帯をじっくりと腰を落ちつけて進めていく必要があります。



3月2日・3日に県連研修で、愛媛県生協連をお訪ねしました。愛媛県連は昨年創立40周年を迎えたという歴史のある県連で、現在17の生協で組織されています。今回の研修には愛媛県連からは濱本会長と事務局の中井さんが出席され、愛媛県連の多彩な活動について沢山のお話をうかがいました。

愛媛県連は奈良県連と違って複数の地域生協が会員となっており、地域生協相互の協力・交流という使命も担っているのが、奈良県連との一番の違いでした。例えば酸性雨やNOxの調査などは、各地域生協の組合員さんが調査した物を県連がまとめて出版するというようなことをしています。県連主催の行事の中では、障害者や老人の方々と船に乗って楽しんでもらうイベント「松山ひまわり号」や、県会議員との懇談会などを印象に残りました。

今回の実り多い研修の成果を今後の奈良県連の活動に生かしていきたいと思います。



会員生協だより

奈良女子大学生協

奈良女子大学生協では1月から3月にかけて「新入生を暖かく迎えよう」と学生委員会を軸に文レクの学生が一緒になって取り組みをすすめています。

後期試験があるなかで先輩から新入生への大学生協メッセージを4分冊に分けて作成しました。先生からのメッセージを頂いたりクラブ・サークルに声を掛けたりと原稿を集めつつ、必死でペンを走らせました。校正の段階では間違いを発見できず折り込み寸前になって理事長先生の肩書きの間違いに気付き刷り直しということもありましたが無事新入生に送り届けることが出来ました。「なななMAP」「生協利用法」「HEARTS OF NARAJOSEI」「DAIGAKU1ねん生」以上が4冊の名前です。

春休みに入っても頑張りました。一つは、受験生への激励と父母説明会の実施です。NHKのニュースでご覧になった方もあるかと思いますが、朝8時に集合して正門の前で受験生に「おはようございます。生協です。頑張ってください」とチラシをまきました。昨年受験した先輩として受験生の緊張が手にとるように分かるだけに、配慮のいき届いた宣伝を心がけました。また、付き添いの父母の方に大学生活の様子を知って頂いて、安心して奈良女子大学に入学してもらえればと大学生活説明会を実施しました。学生が司会や下宿生活の説明・寮の説明などを直接行い、参加された方から拍手を頂くなど大変好評でした。参加者は150名でした。

もう一つは、エントランスイブの取り組みです。企画は4月8日入学式前日に実施ですが、入学手続き日の3月13日と27日に申し込みの受け付けを行いました。既に400名ほどの申し込みがあり、企画の詰めに余念がありません。そのほかにも準備や何やかやとありますが、帰省とスキーと旅行とクラブの合間を縫って、お互いに時間の都合をつけながら学校にきては、わいわいがやがや頑張っています。(小林専務理事)



奈良教育大学生協

奈良教育大学生協では1～3月期、93年度新入生歓迎行事の準備をすすめてきました。新歓パンフの発行・新歓行事の準備などを進めるとともに、合格発表では「なんでも」相談所を設置し、新入生やご両親の疑問や不安に丁寧に答え、おおいに喜ばれました。

(正田専務理事)



ならコープ

1/26 (火) 「得する主婦のための確定申告」
(コープおしくま) 21名の参加のもと、前
義信氏(奈良税務署)招いて、税金につい
て学習しました。

2/13 (土) 文庫交流会 (生協本部)

37名の参加のもと、各文庫の活動を発表し、
交流を深めました。

2/15 (月) 環境活動交流会 (中小企業会館)

145名の参加で、森田三郎氏(市会議員・
タクシー運転手)を招いて、17年間のごみ
拾いの話をさせていただきました。継続する
ことの難しさとして1つの希望に向かった活動
に参加者は感動しました。午後からは、サ
ークル交流会を持ち、87名の方が、意見交
流しました。

2/22 (月) 「アジアの草の根交流の現場から」

(榎原文化会館) 20名の参加で、PHD協
会の活動を通して、アジアの草の根レベル
の人材交流、自立した村づくりに協力して
いる姿勢を、スライドを通して学びました。

2/25 (木) ~ 2/26 (金) フォーラムくらし

(2月集会) (ソニックシティー埼玉県)
全国から1508名(75生協)の参加のもと、
環境・商品・食生活・平和・福祉・助け合
い・文化などのテーマで各生協から 300以
上の報告がされました。

ならコープからは、16名の参加でした。

3/5 (金) ~ 3/26 (金) 「日赤老人看護講習
会」(ふたがみ文化センター) 3月4連続



講座で、老人看護について、松本淳子氏

(日赤看護教師)を招いて、実演を交えて
学びました。大変好評でした。

3/19 (金) 「低金利時代をむかえて」(生協
本部) 杉江雅彦氏(同志社教授)を招いて、
生活設計と貯蓄の学習会をもちました。

2月第16回牛乳パック回収実績

回収量 9.04 t

福祉奉仕活動

1月20件

2月26件

(組合員活動部 山本)



地域の宝を守り隊

仲尾 京子

私達が活動している室生村は、月1度の不燃物ゴミ収集と、年2度の粗大ゴミ収集がすべてという、ゴミ行政の遅れた村です。住民は、行政に不満を持ちながら、それでも、とりえず家庭からゴミがなくなりさえすれば良いとばかりに、前口しか出してはいけなはずの収集場所は、いつもゴミの山積みの状態でした。こんなゴミの出し方を見て通学する子供達が、どんな風に感じて育つかとても不安でした。

何かできないかと考えていた友達のお母さん達と、初めて参加した生協が開いてくれた松田美夜子さんの講演会で、自分達が何をすれば良いか見つけ出す事ができたのです。

ゴミをふやさない事は一番大切だけれど、それでも出てきた資源になるゴミ達を、自分達の手で資源化ルートにのせて、それで得たお金を地域に還元して、みんなの為（私達のため）に使えたらステキだし、明るく、仲良く暮らせると信じて活動を続けています。

牛乳パックの回収から始めて、今は倉庫をお借りして、月1度、古紙、古布、アルミ缶の回収をしています。毎週金曜日は、美化作戦を兼ねた駅周辺のアルミ缶回収、そして、楽しいフリーマーケットは、もう3回も行いました。行政の行うイベントに相乗りさせてもらう状態でいつもやってきたので、人は多

く集まるし、私達独自の商品管理をしているので、顔見知りの多い田舎でも、成功しているのだと思います。

積極的に活動を始めて約1年半、役場への働きかけもたえずやってきたら、昨年6月、アルミ缶圧縮選別機を購入してくれたし、4月からは、助成金制度もやっと導入との事。

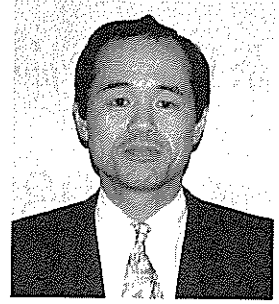
熱い思いを持つ私達だけが取り組むのではなく、すべての住民が負担に思わず参加するこの村流のやり方を模索中です。

他のサークルの人達が、どんな事に取り組んでいるのか、どんなやり方をしているのか、私達は知りたい事、学びたい事が多くあります。生協には、こんな思いを満たしてくれる機会や、パイプ役を、これからもお願いしたいです。



— 参画について —

奈良県生協連・事務局長 大國 康夫



3月18日の理事会において森事務局長から
大國事務局長に替わりました。

私はこう見えても、ロマンチストである。毎朝みる三輪山から24号線を北上しながら若草山に至るまでの「あをがき」の山の形を書き残そうとしている。写しながら『生協運動とは何なのか』を考えている。今日は3月8日に行われた国際女性フォーラム関西「協同組合と女性」の「協同組合における男女共同参画」について書いてみたい。

スウェーデンのストックホルム生まれのICA女性評議会議長のカタリーナさんは、「女性が意思決定の場にいらないこと」を問題提起された。その提案に基づき上掛助教授は男性も女性も働き6時間の労働をしながら、コミュニティのための活動を分かち合える世の中を作っていくことを提案された。これは男の6時間労働短縮を実現し過労死を防ぐことの内容も含まれていた。この会議には女性理事を中心に150人参加された。9割以上が無職の女性であり、カタリーナさんは21才からずーと55才の現在まで働き続けられている。

このフォーラムは女性が働き続けられる社会システムがテーマか、日本の無職の女性にささえられている生協における無職女性の参画の問題意識について論議するのがテーマか分からなかった。そんな問題意識をもった。紙面があれば次回は「一先万組と民主主義」について書きたいと思う。



93年度方針について

1、奈良県協同組合連絡協議会ができました。

- 1) 奈良らしい協同組合間の将来事業展開の具体化について考え合うための「協議会」が出来ましたので、協議をすすめていきます。
- 2) 協同組合デー（7/5）のとりくみをしたいと思います。
- 3) 協同組合フェスティバルなどへの農協、森連などの参加の要請を行います。

2、「協同のあるまちづくり」を目指して取り組みます

- 1) リサイクル、福祉・文化推進会長賞をもうけ、活動している組合員、サークルを励まします。
- 2) 奈良県下の分別回収の具体化の支援や、福祉のゴールドプランに基づく介護福祉士などの具体化に関心をよせて取り組みます。
- 3) 平和活動に組合員参加を広げる為に「平和パッチワーク」に取り組みます。

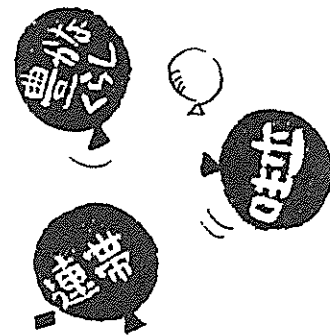
3、県連が県の窓口として機能出来るように努力します。

- 1) 県との調整事項の窓口機能を果たします。

2) 県の催しと方針が一致するものには積極的に参加します。

3) 消費者関係の県の会議に参加できるように働き掛けます。

以上、まだ足がかりが出来たばかりですので、不十分ですが各生協の今年の活動方針をよくみながら、支援できるようにしたいと思います。



リサイクル推進会長賞 福祉・文化推進会長賞 の設置について

<目的>

奈良県の環境・リサイクルおよび福祉・文化の組合員活動を励ますために設け、「人間らしい豊かな暮らしの創造」「協同のあるまち」づくりを推進します。

<対象>

奈良県生協連合会加盟生協の組合員

5つの生協から各3人（または3サークル）を推薦していただく。

リサイクル推進賞 5生協×3人=15人

福祉・文化推進賞 5生協×3人=15人

15人の中からリサイクル推進会長賞1名、福祉・文化推進会長賞1名を事務局会議で選び理事会に推薦致します。

<応募方法>

自薦、他薦で原稿用紙に5枚以内（B5で資料も5枚の中に含まれます）にまとめ各生協に提出し県連事務局に5月末までに郵送してください。

<募集方法>

「なら生協連ニュース」「あをがき」で募集します。

<表彰式>

7月5日奈良県生協大会で表彰します。

リサイクル推進会長賞、福祉・文化推進会長賞の表彰と5万円。

入選賞は表彰と1万円。

9 3 奈良県市民平和行進

今年も平和のために歩きましょう

<スローガン>

「核兵器と戦争のない平和な世界へ」

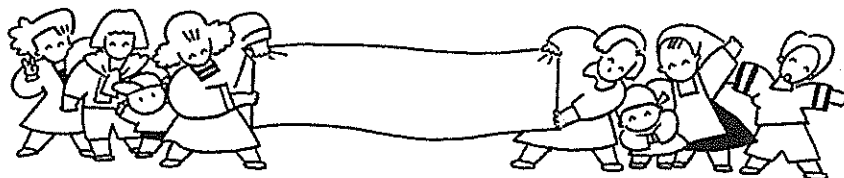
<日程>

6月30日（水）～7月2日（金）

6/30 12:00般若寺で京都との引継ぎ
13:30行進出発
15:00生協本部到着

7/1 未定

7/2 10:00三郷出発
11:00王寺町役場到着
12:00大阪柏原市役所前で引継ぎ





- * 1/27 奈良県協同組合連絡協議会の発起人
会・設立総会（会長・専務・事務局
長）

- 2/9 第10回事務局会議
第1回アースデー すすめる会
- * 2/12 JAセミナー（事務局2名）
- 2/20 組織活動担当者研修・交流会

- 3/2～3春季事務局研修（愛媛県連）
- 3/5 第2回アースデー すすめる会
- * 3/8 国際女性フォーラム関西（事務局長
事務局2名）
- * 3/9 第8回府県連活動交流会（事務局長
事務局1名）
- 3/18 第5回理事会
- * 3/23 市民平和行進全国担当者会議（事務
局長）
- * 3/24 関消懇 会議（事務局長）

- * 4/1 PL法制定を求める関西消費者の集
い（事務局2名）
- 4/6 第1回事務局会議
- * 4/7 関消懇 大阪ガス、関西電力本社あ
いさつ（事務局長）
- * 4/8 第43回通常総会地区別代議員会議

アース・デー

スプリングinなら93

<秋篠川コース>

－西大寺から唐招提寺付近の3km－

日時 4月25日（日）10:30～13:00

集合 簡保保養センター前の平城宮跡

アトラクション：COD・水生生物調査

主催 ならコープアースデーをすすめる会

共催 奈良県生協連

<高取川コース>

－久米寺から高松塚古墳－

日時 4月25日（日）9:30～12:00

集合 久米寺境内

アトラクション：鯉のぼり、鯉放流

主催 ならコープ

共催 しらかしの未来と文化を語る集い

上條恒彦コンサート

コープ劇場ミレルデ '93年春企画

日時 5月14日（金）14:30開演

会場 奈良県文化会館大ホール

主催 ならコープ・コープ劇場ミレルデ

申し込み：組合員活動部（☎0742-34-8735）

第25回清掃登山

「ふるさとの自然を守り育てよう」

日時 6月6日（日）雨天決行

会場 弥生 谷田丘陵 龍王山

金剛山 生駒山 柳生街道

主催 奈良県勤労者山岳連盟（07435-3-4947夜間のみ）